



12月の特別御供養には、家族揃って参加できるよう、今から心がけましょう！

特別御供養 について



皇親正統院(こくうてん)

『特別御供養』についての 御法主白知上人殿下御指南

「御供養の功德というものは正大なものがあります。特に、今回の記念御供養のなかには、今までできなかった御聖堂の大改修という大きな事業があります(中略)皆様方の御供養によって宗門が、また根本山が、特に御聖堂が改修されますことは、皆様方にとっても末代まで語り継げる、大きな誇りになるのではないかと感じます」

「二六日蓮」平成二十三年五月号(2011)

御本山総合整備事業は、これまでの本願寺宮島の真心からの御指導により、三月に雲光塔・鐘山事務長が落成し、年中十八万功の建て替えを中心とする整備事業がほぼ終了しました。これひとえに仏教三宝の御加持はもとより、貴社の絶大な御協力のお蔭と深く感謝申し上げます。

御影堂大改修工事への御供養

残るは、御影堂の大改修工事のみとなりました。この御影堂も、平成二十五年には完工予定となっております。完成の時には、仕時のままの優美な御影堂が現出されることでしょうか。



後、寺島の御影堂



落成した雲光塔



平成23年6月の御影堂

日蓮大聖人は、御影堂の絶大な御功徳について、次のように仰せられています。

「阿育大王は昔釋尊弟子なり、沙の刹を以て仏に供養し一圓淨土の王と爲る。今佛王は日蓮五升を以て法華經に供養す。是の故に成仏して授け了んぬ」

（『日本書紀國書』御書五二八頁）

阿育大王は、世界に釋尊弟子であった時、砂で作った圓字佛を仏に供養し、一圓淨土（金世界）の王様と生まれることができた。今、あなたも釋尊を法華經（御本尊）に御供養された。その功徳により成仏できるものである。

法華講の御縁には、このたびの御影堂大改修のために、御禮建立の尊い志をもって、特別御供養に参加されますようお願い申し上げます。

貴の仏国土実現に向かって

私たちの使命は、御本山を万代にわたって守護し、平和な仏国土実現に向けて精進に精進することです。

社会が変化を伴う中で貴社を支援し、真心の御供養を供え奉り、大いなる功徳御供養を積んで参りましょう。